

東京トヨペット株式会社 日本赤十字社東京都支部に災害救護車両としてプリウスPHVを3台寄贈

東京トヨペット株式会社(社長 古谷俊男)は、日本赤十字社東京都支部に対して、大災害時の救護活動のために電源を供給できる車両「プリウスPHV」を3台寄贈した。

当社は東京都内に店舗を展開する企業として、地域に貢献することを目的に、1993年より福祉車両の寄贈を始め、これまでに43台を都内の社会福祉施設に寄贈してきた。本年は、昨年4月に締結した日本赤十字社東京都支部との「災害救護に係るパートナーシップ協定」の強化を目的に、首都直下型地震などの大災害時に同支部傘下の病院の医師や看護師による救護活動を支えるための車両を寄贈することとした。

日本赤十字社によると、2011年東日本大震災被災地での救護ステーションでは、小型エンジン式の発電機により電源を得ていたが、エンジン騒音が避難者の安眠を妨げる等のストレスの原因になっていたという経験があり、「静かに、かつ3日間も電源が供給できるプリウスPHVは、災害時には期待以上の能力を発揮できる」と評価している。

3月12日(土)に東京都赤十字血液センターにて実施した寄贈式では、当社の伊藤隆之専務取締役から同支部中川原事務局長にプリウスPHV3台の目録を贈呈し、同支部から当社に対して感謝状が贈られた。

同支部の中川原事務局長は、「プリウスPHV3台は、ここ血液センターと傘下の武蔵野と大森の2病院に配置し、日頃の看護活動や大災害時の機動力として活用させていただく。東京トヨペットと日本赤十字は東京の災害に共に立ち向かうパートナーとして、今後も様々なことに取組んでいきたい」と謝辞が述べられた。

式典後には、プリウスPHVの電源に電動エアポンプを接続し、災害時の大型エアテントを設営するデモンストレーションが披露され、わずか90秒で空気が充填されて張り上がったテントに、会場から歓声が上がった。プリウスPHVのAC100ボルトで最大1500ワットの電力供給は、照明だけではなく動力系の電源としても大きな役割を担うとして、同法人に大変感謝された。

寄贈式の概要は以下のとおり。

- 【1】実施日時：2016年3月12日(土) 10:30~11:30
- 【2】実施場所：東京都赤十字血液センター(東京都新宿区若松町12-2)

※主な用途

- ・看護師移動用
- ・災害時の電源供給

- 【3】寄贈車両：プリウスPHV 3台



< 伊藤専務取締役より日本赤十字社東京都支部
中川原事務局長へ目録の贈呈 >



< プリウスPHVの電源を活用し、
災害対策用エアテントを膨らませる
デモンストレーション >

以上

東京トヨペット株式会社

<http://www.tokyo-toyopet.co.jp>

ご取材の問い合わせ：夢づくり推進部広報グループ 伊藤、伊佐

tel 03-6414-5002 fax 03-6414-5088